

平成29年7月

各団体・機関の責任者 各位

一般社団法人 農業開発研修センター
会長理事 小池 恒男
[公 印 省 略]

平成29年度（通算第50回）農産物流通研究会の開催について

拝 啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当センターでは、地域農業の振興・活性化とJAの改革に貢献することを基本目的として、農業・農村の情勢や現場の様々なニーズを踏まえて、各種の研究会（研修会）を毎年開催しており、全国各地から多数の方々にご参集いただいております。

この度、標記研究会を別添開催要領のとおり開催いたします。「趣旨」に示してありますとおり、今後の青果物流通のあり方と産地・卸売会社の対応課題について徹底討論いたします。

JA・地方自治体・青果卸売会社をはじめとする地域の関係諸団体の役職員の皆様方が、青果物を中心とした農業生産の拡大、農業所得の増大に向けた各地域での今後の取り組みを考える合同の研修機会として本研究会を有効にご活用いただきたいと考えております。そこで、合同参加しやすいよう、複数名参加割引制度をご用意しておりますので、是非ともご利用ください。

つきましては、公務ご多忙の折とは存じますが、貴団体・機関の関係者のご参加につき格別のご配慮を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬 具

JAグループの「自己改革」への取り組みに向けて

一般社団法人農業開発研修センター

JAグループは、「農協改革」および平成28年4月に施行された改正農協法を受け、理事構成の見直しによるガバナンスの強化、内部統制整備による公認会計士監査への対応などが急がれるなか、先送りされている准組合員の事業利用規制問題など諸課題への対応を踏まえた「自己改革」に取り組んでおります。

「農業競争力強化プログラム」の強行によって迫られる対応など、依然厳しい環境下のもと、JAの「自己改革」による確かな方向性を見いだすためには、問題解明と新しい方向付け、さらには、戦略的取り組み課題が必要となります。

当センターでは、大学研究者を中心とする専門家をチーム編成し、これまで数多くのJAグループなど、各機関・団体からのご要請（委託）を受け、調査診断（コンサルティング）に取り組んでまいりました。そこで、今般のJAの「自己改革」、さらには現場で悩まれておられる課題の解決に向けて、様々な事例を豊富に取り組みできた経験と実績がある当センターを今こそ、ぜひともご活用ください。

なお当センターでは、JAの「自己改革」への取り組みに際し、重要となる組合員の意向を把握するための各種アンケート調査の企画・集計・分析に限定した調査診断にも対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

当センターの調査研究・調査診断（コンサルティング）の特徴

調査研究、調査診断ともに委託者の問題意識を大切にし、それに基づき、的確な課題の設定を行います。また、学会・大学等の先行研究と最新情報を踏まえて、的確な分析視座に基づき、取り組みます。

調査研究については、委託者から与えられたテーマへの有効な接近方法を工夫し、ベストのメンバーによる調査研究班を編成して、委託者の問題意識に明確に答える調査研究成果を実現します。

調査診断については、的確な情勢分析と現状分析とを踏まえて、現状における問題の所在とその原因・背景の解明を行うとともに、委託者の問題意識と期待に応えられる新しい方向付けと有効な改善方策を具体的に提案・提言します。特に、「地域農業振興計画」やJAの「運営基本構想」・「中期経営計画」の見直しの助言・支援を得意としています。

委託者の趣旨に沿って、大学研究者を中心として、最も相応しい専門家チームを編成して取り組みます。取り組み過程では、委託者側と当センターの専門家チームとで「研究会」を設置します。「研究会」は、取り組み方針や中間検討の場等として活用し、委託者の趣旨に沿うよう留意しながら取り組みます。

取り組み過程では、当センターが蓄積してきた様々なノウハウを活用します。特に、アンケート調査とヒアリング調査を現状分析のための手法として重視しており、多様で有効な調査のノウハウを蓄積しています。

JAの「自己改革」に向けて、以下のような分野に対応いたします

地域農業診断

- ・地域農業の問題点を総合的に解明し、地域農業を取り巻く情勢変化を踏まえて振興方向を見極め、取り組み課題を提示する場合と、併せて「地域農業振興計画」の見直しについても助言・支援を行う場合とに分けて取り組みます。

JA調査診断

- ・当該JAの現状分析と問題点の解明を行い、それを踏まえて、あるべき方向を見極め、有用な情報の提供及び対応方策についての助言・提案を行います。さらに、委託者の要請に応じて、JAの「基本構想」や「中期経営計画」見直しへの助言・支援を行います。

相談受託

- ・本事業は、各種機関や会員団体等の管理職層やトップ層が抱えている悩みへの対応など、様々な要請に応じて、一定期間を設定して、支援・アドバイスをを行うとともに、業務に関する企画・運営の継続的支援を目的として実施しております。

なお簡易な相談要請については、当センターの研究者理事・監事などを「相談員」として委嘱し、相談時間などを設定して取り組みます。

平成29年度（通算第50回）

農産物流通研究会開催要領

主催：一般社団法人 農業開発研修センター

《趣 旨》

規制改革推進会議等の提言を受けて、『農業競争力強化プログラム』に「卸売市場法を抜本的に見直し、合理的理由のなくなっている規制は廃止する」の文言が盛り込まれました。一方、『規制改革実施計画』（今年6月閣議決定）は、卸売市場法の見直しについて今年中に具体的結論を得るとし、早急な法改正が進められようとしています。

青果物の総流通量は四半世紀で8%減となっていますが、国内生産量は31%減と弱体化がみられ、他方、輸入量は79%増と大幅拡大しています。また市場経由率は60.2%に低下していますが、国産品に限れば84.4%の高い市場経由率を維持しており、卸売市場は依然重要な役割を果たしています。しかし、『農林水産業・地域の活力創造プラン』では、JAグループに買取販売の推進を強く求め、卸売市場の役割は必ずしも重視しない立場です。

こうした中、JAグループにおいては、「創造的自己改革」として「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に取り組み、特に園芸部門では実需者ニーズに基づく加工・業務用野菜の拡大を重要な取り組みとして掲げています。

そこで本研究会では、以上の情勢を踏まえつつ、今後の青果物流通のあり方と産地・卸売会社の対応課題について徹底討論することをねらいに開催します。

《概 要》

第1日目は、まず報告Ⅰで、卸売業界に精通した農業ジャーナリストから、苦境に立たされている卸売市場流通の今後のあり方について提言していただきます。続く報告Ⅱで、大手スーパーマーケットから、徹底した消費者の購買分析を通じた地域密着型の経営展開の取り組みと産地・卸売業界への期待・要望について報告していただきます。報告Ⅲで、JA全農から、園芸事業の自己改革に関する今後の具体的な取り組み内容について報告していただきます。

第2日目は、シンポジウムで、「どう変わる どう変える、今後の青果物流通—『農業競争力強化プログラム』は何を目指すか—」をテーマに、卸売市場問題の研究者からの基調報告と3つの実践報告を手がかりに、今後の青果物流通のあり方と産地・卸売会社の対応課題について徹底討論します。

《お願い》

本研究会は、JAグループの役職員の皆様はもとより、卸売業、小売業など流通関係の方々、卸売市場開設者をはじめ流通行政の担当者の方々にも示唆深いものになるようテーマ設定に工夫を行い、実践で成果をあげておられる現場の方々や現場の事情にも詳しい専門研究者など、第一線で活躍中の適任者の方を講師として招聘し、開催します。多数のご参加をお待ちしております。

なお、本研究会の開催期間中に懇談会を予定しております。講師との交流のみならず、参加者相互の情報交換や交流の場としてもご活用いただきたいと考えておりますので、ふるってご参加ください。

期 間：平成29年9月4日（月）～5日（火）

会 場：滋賀県農業教育情報センター 2階 第3研修室（別図参照）
滋賀県大津市松本1丁目2-20（農業開発研修センター直通 TEL 077-527-2220）
JR大津駅より徒歩約7分
※JR大津駅は、JR京都駅から東海道本線（琵琶湖線）で2駅・9分です。
（毎時7本程度運行）

対 象：①JA、全農都府県本部・本所、都道府県農協中央会・連合会、その他全国連の役職員
②卸売市場業界関係者（開設者・卸売業者・仲卸業者等）
③都道府県・市町村の農林行政担当者・市場行政関係者、議会議員
④その他、農産物流通関係機関・関係団体の役職員

定 員：100名

参加費：（会 員）43,000円 （非会員）60,000円 （消費税込）

会員参加費は、農業開発研修センター会員所属者及び平成28年度以前からの会友（個人会員）です。なお、会員加入が不明の場合は事務局までお問い合わせください。

※ 懇談会参加の場合は、参加費の他に5,000円（消費税込）が必要です。
（開催日：9月4日（月） 17：30～19：00）

【参加費の割引について】

より多くの参加を募るため、参加費を割引きます。詳細は、本開催要領の4頁に掲載しています。是非ともご活用ください。

日 程：

《第1日目》 9月4日（月）

13:00～13:10 開会あいさつ 一般社団法人農業開発研修センター 会長理事 小池 恒男
(滋賀県立大学名誉教授)

13:10～13:20 オリエンテーション 信州大学・大阪府立大学名誉教授 桂 瑛一 氏

13:20～14:30 報告Ⅰ 苦境打開に向けた卸売市場流通のこれから

(うち質疑応答約10分)

農業ジャーナリスト 小 暮 宣 文 氏

- 『農業競争力強化プログラム』は卸売市場流通の何を問題として、卸売市場法の見直しはどう動こうとしているか
- 卸売会社・産地の現状をどう認識するか
- 卸売市場に求められる役割と卸売会社・産地の喫緊の対応課題は何か

14:30～14:40 休 憩

〈量販店の事例に学ぶ〉

14:40～15:50 報告Ⅱ 徹底した購買分析に基づく地域密着型経営の展開

(うち質疑応答約10分)

株式会社ライフコーポレーション 近畿圏農産部
担当課長 和 泉 宏 氏

- 昭和31年設立、近畿圏・首都圏に264店舗を展開し、売上高6,346億円の大手スーパーマーケット。400店舗・売上高8,000億円を目指し積極的な店舗戦略を展開
- 「最も信頼される地域一番店」を目指し、「〇〇県産JA〇〇より」の産地名を出した販売促進、高級志向店の新規出店やオリジナルPB商品の新規開発
- お客様座談会、5万人ウェブアンケート、POSデータから見えてきた消費者ニーズの変化と産地・卸売業界への期待・要望

15:50～16:00 休 憩

16:00～17:00 報告Ⅲ JA全農園芸事業改革

(うち質疑応答約10分)

全国農業協同組合連合会 園芸部 部 長 野 崎 和 美 氏

- 園芸事業改革の取り組みの考え方
- 直販事業拡大に向けた施設整備とマーケットインに基づく生産振興
- パートナー市場との連携による予約相対取引の拡大

17:00～17:30 休 憩・移 動

17:30～19:00 懇 談 会 (ホテルテトラ大津. 京都)

- 講師及び研究会参加者の意見交換
- 参加者相互の交流 (名刺交換)

《第2日目》 9月5日（火）

シンポジウム「どう変わる どう変える、今後の青果物流通
—『農業競争力強化プログラム』は何を目指すか—」

9:00～ 9:10 座長解題 神戸大学大学院 農学研究科 教授 小 野 雅 之 氏

- シンポジウムで議論したい論点と参加者に期待したいこと
- 基調報告・3つの実践報告の関連と意味付け

9:10～10:10 基調報告 卸売市場は不要か ―卸売市場の役割発揮と産地との連携のこれから―

卸売市場政策研究所

代表 細川 允史 氏

- 卸売市場の現状と現行制度とのかい離をどう認識するか
- 卸売市場の今後の方向性―広域調整・連携・連合をどう考えるか
- 卸売会社の機能発揮に向けた取組課題と産地との連携のあり方

10:10～11:00 実践報告① 若手生産者を軸にした万願寺甘とうの生産拡大・販売力強化

京都府 京都丹の国農業協同組合 営農経済部 営農支援販売課
課長 大槻 浩也 氏

- 京都府の中北部に位置し、綾部市、舞鶴市、福知山市（一部）を管内とするJA。組合員総数22,096人（うち正組合員13,077人）、販売品販売高21億円、購買品供給高23億円（平成28年度末）。主要農産物は米、万願寺甘とう、小豆
- 若手生産者（新規就農者を含む）を中心に生産者数・作付面積・出荷数量を大きく拡大。積極的な営業展開で近畿圏から首都圏にも販路を拡大
- 自己改革の取り組みとして指導・販売部門を一本化した営農支援販売課を新設し（今年4月）、農業生産拡大、販売高向上の取り組みを加速

11:00～11:10 休憩

11:10～12:00 実践報告② JA版「地方創生総合戦略」による生産拡大・販売力強化

鳥取県 鳥取中央農業協同組合 農産部

部長 小椋 憲浩 氏

- 鳥取県中部に位置し、倉吉市のほか4町を管内とするJA。組合員総数22,976人（うち正組合員12,223人）、販売品販売高169億円、購買品供給高41億円（平成28年度末）。主要農産物はスイカ、ナシ、ラッキョウ、ナガイモ
- 自己改革の一環で策定されたJA版「地方創生総合戦略」に基づき、ナシ新品種の団地整備、低コストパイプハウス設置など生産基盤強化の取り組み
- 輸出拡大と提案型販売による営業力強化の取り組み

12:00～13:00 昼食

13:00～13:50 実践報告③ 市場間ネットワーク構築による集荷・販売力の強化

福岡県 北九州青果株式会社

代表取締役社長 百合野 博 氏

- 昭和22年設立、北九州市中央卸売市場に入場する卸売会社。平成28年度取扱高44.2億円（5年で27%増）
- 地方卸売市場での2支店とグループ会社の中津大同青果（大分県）による卸売市場間のネットワークを構築。首都圏の市場調査のため東京事務所を新設
- 近郊地域での産地開発、関連会社での九州産にこだわった加工商品の製造・販売など積極的な需要開拓を展開

13:50～14:10 休憩

14:10～15:40 討 論

(座 長) 前 掲

小野 雅之 氏

(コメンテーター) 京都青果合同株式会社 果菜部担当執行役員

村上 勝也 氏

四国大学 地域教育・連携センター 准教授

宮井 浩志 氏

15:40～15:50 座長総括

小 野 雅 之 氏

15:50～16:00 閉会あいさつ 一般社団法人農業開発研修センター 常務理事 瀬津 孝

(京都大学農学部非常勤講師)

注) 講師の都合等により、報告時間等に若干の変更がある場合があります。予めご了承ください。

【参加費の割引について】

より多くの参加を募るため、参加費を割引きます。
なお、①と②の併用はできません

<①：複数名参加の場合>

- ・2名以上の参加は参加費を割引きます。複数団体（会員・非会員を問わず）での申し込みも適用が可能です。
- ・必ずとりまとめて申し込んでください（後から追加をされた場合は割引対象になりません）。

会 員：40,000円 非会員：55,000円（消費税込）

<②：会友（個人会員）同時加入の場合>

- ・非会員の方で、本研究会の申し込みと同時に会友加入を希望される方は参加費を特別に次の価格とします。この機会に是非とも会友にご加入ください。

51,000円（平成29～30年度の2カ年の会友会費及び消費税込）

懇 談 会：

講師及び参加者の意見交換の場として設営します。参加は自由ですが、積極的な参加を期待します。
参加申込書にご記入のうえ、懇談会費を送金してください。

と き：9月4日 17：30～19：00

懇談会費：5,000円（消費税込）

宿舎の案内：

ホテルテトラ大津.京都 滋賀県大津市逢坂1-1-1 TEL 077-527-6711

○本センターへの予約は8月18日（金）17時で締め切ります。それ以後の予約は各自でお願いします。

○宿泊料は、シングル7,100円（消費税・サービス料込/1泊）です。ホテルへお支払いください。

○本センターへの予約分の変更は事務局にご連絡ください。

研究会場周辺のホテルです。予約は各自でお願いします。

ホテル・アルファーワン大津	大津市梅林2-6-28	TEL 077-523-6677
スーパーホテル大津駅前	大津市京町3-2-7	TEL 077-522-9000
東横INN京都琵琶湖大津	大津市長等2-1-28	TEL 077-510-1045
ホテルブルーレーク大津	大津市浜大津1-4-12	TEL 077-524-0200

申込方法：

①参加申込書をファックスで送信し、参加費と懇談会費（出席の場合）を送金してください。なお、振込手数料はご負担ください。

○ 京都府信用農業協同組合連合会（京都信連）

本 店 当座預金 口座番号：6373291

○ 京都銀行 京都駅前支店 普通預金 口座番号：3164073

口座名義：一般社団法人農業開発研修センター
（シヤ）ノウギョウカイハツケンシユウセンター

②申込締切日：8月29日（火）17：00（定員になり次第、締め切ります）

③会員加入が不明の場合や参加費の前納が不可能の場合はご連絡ください。

④開催要領及び参加申込書は、ホームページ（<http://www.agridtc.or.jp>）からダウンロードできます。

受理通知：

受付ができましたら、受理通知書をファックスで送信します。

その他：

- ①平成28年度以前から会友（個人会員）にご加入の方が部分参加される場合は別途割引があります。
- ②参加申込書を送信後にキャンセルされる場合は、キャンセル料が発生します。
 - ・ 8月29日17:00まで……10,000円を申し受けます。
 - ・ 8月29日17:00以降……参加費は返却できません。
- ③その他、ご不明な点は事務局へご連絡ください。

問い合わせ（申し込み）先：

一般社団法人農業開発研修センター 農産物流通研究会係

〒520-0807 滋賀県大津市松本1丁目2-20（滋賀県農業教育情報センター）

TEL：077-527-2220

FAX：077-527-2230

E-mail：info@agridtc.or.jp

URL：http://www.agridtc.or.jp

アクセス：



《所要時間》

- ・ JR大津駅（北口（びわこ口））⇔
会場（滋賀県農業教育情報センター）＝徒歩約7分

JR大津駅は、JR京都駅から東海道本線（琵琶湖線）で2駅・9分です（毎時7本程度運行）

農業開発研修センター 行き

< F A X : 0 7 7 - 5 2 7 - 2 2 3 0 >

平成29年度（通算第50回）農産物流通研究会参加申込書

〒

TEL

FAX

ご住所：

貴機関名：

ご記入者（部課名）

（お名前）

機関名・部課・役職名	ふりがな 参加者氏名	懇談会 参・加 不・参加	テトラ大津、京都への幹旋希望（希望日に○）				喫煙 禁煙	会友同時 加入 （希望者は○）
			3日	4日	5日	煙草		
			前日	開講	閉講			
		参・加 不・参加				喫煙 禁煙		
		参・加 不・参加				喫煙 禁煙		
		参・加 不・参加				喫煙 禁煙		
		参・加 不・参加				喫煙 禁煙		
		参・加 不・参加				喫煙 禁煙		
		参・加 不・参加				喫煙 禁煙		
< 記入例 > 営農企画課長	けんしゅう たろう 研修 太郎	参・加 不・参加		○		喫煙 禁煙	○	

<送金状況>

1. 振込（予定）先 …… イ. 京都信連 ロ. 京都銀行（該当する記号に○印をつけてください）
2. 振込（予定）日 …… 月 日（宿泊料は振り込まないでください）

注1) 必要事項をご記入のうえ、ファックスで送信してください。
 <<研究会参加及び宿泊予約は、申し込み順に受付ます。定員に達した時点で締め切り、受付できなかった方には連絡します。>>
 2) ご記入いただいた情報は、研究会の受付事務、参加者に配布する名簿作成、以後の研究会の案内等のために使用するものであり、それ以外の目的で使用することはありません。